

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/site/amakusa-1219>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



豚コレラ及びアフリカ豚コレラの特定症状が定められました

今般、豚の飼養者や獣医師等が自ら家畜保健衛生所へ通報する症状について明示的に定められていなかったことから、口蹄疫等と同様に異常豚の早期通報のため「**農林水産大臣が指定する症状(特定症状)**」が以下のとおりに定められました。

家畜保健衛生所への通報の遅れは、豚コレラの防疫措置を遅らせ、感染拡大へつながる可能性が非常に高く、さらに、アフリカ豚コレラが、万が一国内に侵入した際の発見の遅れにもつながります。豚飼養農家の方々におかれましては、**以下に示す項目の内、いずれかの症状を呈する豚を発見された場合は、直ちに当所に通報して下さるようよろしくお願い致します。**

家畜の種類	症状	対象とする家畜伝染病
豚及びいのしし	耳翼、下腹部又は四肢等に紫斑があること	豚コレラ及び アフリカ豚コレラ
	同一の畜房内において、概ね1週間程度で継続的に複数の家畜に以下の症状が拡大して認められること。 (1) 摂氏40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退 (2) 便秘、下痢 (3) 結膜炎(目やに) (4) 歩行困難、後躯麻痺、けいれん (5) 削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚) (6) 流死産等の異常産の発生 (7) 皮下の出血、皮膚の紅斑、鼻孔や肛門等の天然孔からの出血、血便	
	同一の畜舎内において、概ね一週間程度の内に複数の繁殖豚又は肥育豚が突然死亡すること。	

※当該農場に浸潤している他の疾病や緊急災害により当該結果が引き起こされていることが既に判明している場合等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものであることが明らかな場合はこの限りでない。

牛EBL（白血病）清浄化に向けた講習会が開催されました

3月6日に天草家畜市場において、天草地域における畜産関係者及び生産者約80名が参集し、講師である宮崎大学産業動物疫学分野の目堅先生による「牛EBL(白血病)清浄化に向けた講習会」が開催されました。牛白血病の基礎から感染対策まで、今後の天草地域のEBL清浄化に向けて取り組む上で大変参考になる話を聞くことが出来ました。

以下、特記事項を御報告します。

- 牛EBL（白血病）は発症による経済損失のみならず、ウイルス量の多い牛での免疫機能の低下による生産性に影響する。
- 吸血昆虫を介した感染の対策として、2m以上の高さの防虫ネットを利用した感染牛と非感染牛の分離飼育が有効。（吸血した昆虫は高いところを飛ばない）
- 出血を伴う除角で、感染が広がった事例もあるため、熱（焼らく器、デボナー）による止血が大切。
- 分娩の際は大量の出血を伴うので、感染牛と非感染牛の分娩舎の分離も重要。
- 母子感染を減らすためにはリアルタイムPCRによるウイルス量の測定で、感染リスクが高い（ウイルス量が多い）牛を特定し、繁殖に用いない。後継牛の産生は、受精卵移植で可能です。（ただしレシピ牛の選定にも陰性牛を！）
- 母子感染対策として、子宮内・分娩時感染対策と母乳感染対策の両方を行って初めて効果がある。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫	O型	ロシア（9件）	豚・山羊・羊	平成31年1月28日～2月12日
アフリカ豚コレラ		中国（8件）	豚	平成31年2月8日～平成31年2月27日
		ベトナム（3件）	豚	平成31年2月1日～2月17日
				平成31年3月1日時点

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

